



ロータリー：変化をもたらす

RI 会長

イアン H.S. ライズリー

新潟南ロータリークラブ

- 例会場 / 新潟市中央区川端町 6 丁目 53 ホテルオークラ新潟 TEL 025-224-6111
- 事務所 / 新潟市中央区西堀前通 6-905 第二西堀ビル 5 F
TEL 025-222-5050 FAX 025-222-5051 e-mail niigataminamirc@wine.ocn.ne.jp
- 例会日 / 水曜日 12 時 30 分
- 会長 / 富山 修一 幹事 / 田村 淑文 会報・雑誌委員長 / 西脇 郁夫

WEEKLY REPORT

No.2835 2017.12.13 wed

ロータリーソング ①「我等の生業」 ②「ROTARY」

1) 富山 修一 会長挨拶



明日は12月14日討ち入りの日ですので、忠臣蔵の話をして。近松門左衛門が赤穂事件を題材に書き下ろしたもので当時、類を見ない大ヒットだったそうです。

元禄14年3月14日（西暦1701年4月21日）に朝廷の使者を接待している最中に浅野内匠頭が吉良上野介に刃傷の及んだ事件です。将軍徳川綱吉は激怒し即刻、庭にて切腹を申し付ける（普通武士は屋内）。

腕に覚えのある武士ならなぜ切りつけず刺突しなかったか？ストレス暴発による突発事が通説です。赤穂藩はお取潰し時に良心的に藩札を額面の6割で交換しています。浅野本家は広島藩ですが幕府が怖く知らぬふりをしていました。また城の明け渡しでは、幕府側は籠城を恐れ4500人も軍勢で受け取りに来ました。

さて討ち入りは元禄15年12月14日（西暦1703年1月30日）です。戦闘は2時間程度で終わり、吉良方は死者15人負傷者23人。対して赤穂側は負傷者2名の軽微なものでした。討ち入りには山鹿流の陣太鼓は無く、服装も定紋付小袖と合印の白晒、草鞋、股引、脚絆が決めで、後は自由で火事装束ではありませんでした。「仇討ち」か「復讐」かは幕藩体制にかかる事なので幕末まで結論は出ませんでした。また浪士はお預けの屋敷で室内にて畳2枚を敷いて切腹となりましたが、主君に比べてとても厚遇された待遇でした。

江戸城での刃傷事件は6件ありましたが著名なのは田沼意次の子息、若年寄田沼意知の刺殺事件が有名です。

2) ビジター紹介 (米山 光紀 君)

1名

高橋秀松さん（新潟 RC）

3) 今週の花 「フリージア」 花言葉:あどけない、純潔

4) 伝達

小野充二さんへ第1回米山功労者感謝状



5) 委員会報告

・ロータリーの友の紹介 (松川 洋一 君)



・ロータリー財団委員会 (服部 正 委員長)



五十嵐大吾 君	\$ 20	ポリオ \$ 10	(\$ 3,830)
小野 充二 君	\$ 50		(\$ 1,360)
渡辺 敏彦 君	\$ 100		(\$ 29,272)



五十嵐大吾 君	¥2,000	(¥153,000)
金鞍 博樹 君	¥10,000	(¥759,000)
小野 充二 君	¥5,000	(¥105,000)
富山 修一 君	¥2,000	(¥221,000)
津吉 孝司 君	¥5,000	(¥576,000)
渡辺 敏彦 君	¥10,000	(¥2,781,000)



酒井一成君…本日卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

7) 幹事報告（田村 淑文 幹事）

・先週12月6日の理事役員会において、五十嵐仁義さんと片桐由裕さんの2名の退会が承認されました。

会員数	算定対象者	出席者	出席率
107	104	85	81.73

《新入会員スピーチ》

長崎 寿秀 さん



私は^{ながさきざんしんしゅうじ}長崎山真宗寺の26代目の住職になります。鎌倉時代に北条高時の家臣^{ためとも}長崎為甚が壇ノ浦の合戦で敗れ出家、円海と称し、今の小松市にお寺を設立しました。その後真宗寺

と改め、10代目が天正年間に加賀の乱を避け秋田に移住。慶長元年に新潟に移りました。創立して600年、新潟に移住して400年、合わせて1000年の歴史があります。近年では明治6年に本堂を子供たちのために開放、それが新潟小学校の原型となっています。

年間の行事ですが、4月に親鸞聖人のお誕生日の法要を行ないます。その際、本堂で雅楽を演奏いたします。新潟で雅楽演奏を取り入れている所はほとんどないと言っている位の規模です。11月には親鸞聖人が命日である報恩講があります。お坊さんだけで30人以上、参詣者や檀家さんからも80人ほど来ていただき、手作りの精進料理を食べていただきます。夏には子ども向けに土・日で晩ご飯を食べ、本堂でロウソクに灯をつけて怖いお話をします。

年末は除夜の鐘を11時45分から回数にこだわらず来た方全員に叩いていただいています。鐘撞堂の周りで餅を焼き雑煮を振舞っております。

私は昭和47年生まれ、出身は京都です。趣味が中国語です。海洋調査と言う名の釣りが趣味です。特技はバスケットボールで小中高大ずっとやっていました。現在は社会人のトップリーグAリーグに所属するチームを1つ所有しています、選手権監督としてたまにやっております。

私は長崎家に25年前に養子に入りました。私自身は実は徳川御三家水戸藩主の直属の子孫でありまして、特別な袈裟を着ております。今日はありがとうございました。

酒井 一成 さん



自宅は長岡駅裏のマンションで、現在単身赴任中です。家族は家内と子供2人、長男と次男です。週末になると長岡に帰る生活をしています。

子供たちが小学生の時にペットを飼おうと思ひまして、マンションですので管理人さんに相談して鳥を飼うことにしました。その話をちょっとしようかなと思います。

鳥を飼うため、子供たち2人をペットショップに連れて行きました。そこにはセキセイインコの成鳥と生後2-3ヶ月の雛がいました。雛は毛も生え揃っていない状態で、餌をお湯で混ぜてやったり、暖かくしてやったりと手がかかりますが、子供たちが育てるのもいいことと思ひ、雛の中から1羽を選ばせました。今から10年位前です。鳥が2,000円、鳥籠、止まり木、その他遊び道具など合わせて大体6,000円位でした。

子供たちも喜んでお世話をして成鳥になりました。夜になるとカーテンを閉めて鳥籠から出してあげると自由に部屋の中を飛びまわりました。手にも乗りお喋りもします。可愛くて、子供たちも喜んでいました。そんなこんなで2年くらい飼った頃、ちょっと出血しまして、心配で病院に連れて行きましたらガンだということでした。子供たちも可愛くてしょうがないので、先生手術してくださいとお願いし、手術してもらいました。翌日に連れて帰りましたが、結局1週間位で死んでしまいました。子供たちは大泣きで家内の実家の庭に埋めましたが、今でも命日にお参りに行っています。長男は大学生、次男も高校生になり生意気ざかりですが、動物を愛する思いやりの心をいつまでも持っていてくれればと思っています。